

## 寄 贈

奥尻町女性団体連絡協議会では、「地域の実状を把握し、地域のために役立つ活動」の一環として地域の福祉施設に利用してもらうことを目的に古着等を持ち寄り清拭用ウエスの作成を行い、10月8日に特別養護老人ホーム「おくしり荘」に清拭用ウエスを届けました。



▲清拭用ウエスを寄贈しました  
(写真右下の段ボール)



## わが家の ★アイドル★



長利 智之さん(字奥尻)の  
 長女 **梨 璃** ちゃん(5歳10ヶ月) 左  
 長男 **陣之助** くん(1歳5ヶ月) 右

～両親からのメッセージ～

オシャレ大好きなお姉ちゃん、ガキ大将の弟よ！  
 これからもずっと笑顔でいてね♡  
 パパ・ママより

## 寄 付

9月22日、名古屋市在住で(株)豊電子工業代表取締役・盛田豊一氏が、奥尻島を訪れ、役場町長室で、小学校3校、中学校2校などに対して寄付をしていただきました。

「小学校入学前に瀬棚町(現せたな町)から、奥尻に渡り、中学生の時父を亡くしましたが、18歳頃まで奥尻で過ごしました。お世話になった方々にお礼をしたいと思います。これから島を担っていく、子どもたちに頑張ってもらいたいという思いで、寄付しました」と盛田氏は、当時を懐かしむように話してくれました。

児童生徒の代表が「よく考え、大切に使用させていただきます、ありがとうございます」とお礼を述べていました。



■盛田豊一氏(66歳)  
 現在は、(株)豊電子工業で代表取締役、また、(社)日本配電制御システム工業会会長などに就任されています。

雨天により延期されていた「第30回奥尻町教育長杯少年野球大会」が、10月8日、青苗小学校グラウンドで行われました。

平日にも関わらず大勢の保護者や観客から「打てー」、「ナイスキャッチー!」、「頑張れー」など声援が飛び交う中、選手たちは、日頃の練習成果を発揮したプレーで、熱戦を繰り広げました。

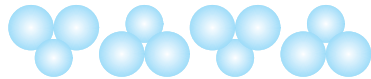
試合は、奥尻ブレイクスが2回表に先制し、青苗スカイバードが追う展開となり、8対2で奥尻ブレイクスが昨年の雪辱を晴らし優勝しました。

各賞については、次のとおりです。

- ◆打撃賞 田中 絢哉くん(奥尻ブレイクス)
- ◆敢闘賞 菊地 俊平くん(青苗スカイバード)
- ◆逸見 真心くん(奥尻ブレイクス)
- ◆最優秀選手賞 逸見 真心くん(奥尻ブレイクス)
- ◇優勝 奥尻ブレイクス
- ◇準優勝 青苗スカイバード

## 第30回奥尻町教育長杯少年野球大会





# 完 成

農業生産法人、「株式会社奥尻ワイナリー」（代表取締役 海老原浩）が、湯の浜地区に建設を進めていましたワイン工場がこの度完成し、10月10日に落成式を行いました。

本事業は当町が「奥尻島地区活性化計画」を策定したことにより、農林水産省の農山漁村活性化プロジェクト支援交付金を活用し、平成19年度の実施設計から取り組んでいたものです。



落成式は、穏やかな秋晴れの下、海老原浩代表取締役をはじめ、和田町長、新村議長、石田商工会長や関係者など約100名が出席し、テープカットで新工場の完成を祝いました。

ワイン工場は、敷地面積約1,460㎡で、1t～8tまでの醸造（発酵・熟成）タンクが40基設置されており、約150tのワイン生産能力があります。

当日は、真新しい熟成樽や今年取れたぶどうの初仕込みの作業の様子も公開されました。



引き続き行われた祝賀会では、株式会社奥尻ワイナリー海老原孝役員（海老原建設社長）が挨拶の中で、「計画から9年。台風などでぶどうの生育が悪い年もあったが、工場の完成で奥尻ワインが定着出来るよう、また良いワインが出来るよう、次の世代に魅力ある産業の発展に努めて行きたい。」と話しました。

引き続き、和田町長からは「離島においてのワイン生産は初めてのこと。震災から15年、久々に島に明るいニュース。奥尻島をワインを通して、日本はもちろん、世界へ発信してもらいたい。」と祝辞が述べられました。

今秋から品質の良いワイン作りをし、来春には新たな奥尻島産ブランドが誕生します。



## 秋の奥尻島を楽しむ 初の「オンパク」ツアーが来島

10月18日～19日の2日間、「北の離島「奥尻」！飾らない自然空間での癒しのひととき」をテーマに「はこだて湯の川オンパク」ツアー一行が奥尻島を訪れました。

「オンパク」とは大分県・別府市において発祥した集客交流事業における「温泉泊覧会」の略称で小規模のイベント・教室・ガイドツアーといった地域内交流活性化プログラムを活用した新しい体験観光として注目されている観光誘致策で、「はこだて湯の川オンパク」として今回で第4回を迎えます。

奥尻町では「奥尻島地域再生プロジェクト・人材育成事業」として函館湯の川オンパク研修会に積極的に参加、道南圏域の観光客誘致と交流を図ったことから今回の実現に至りました。



▲あわび狩り体験中の参加者の方々

ツアーに参加した11名は、秋の味覚堪能と奥尻ガイド協会による島内観光名所めぐりの他、あわび種育苗センター・奥尻ワイナリー見学・あわび狩り体験といった産業に触れる体験を盛り込んだツアーに「想像より大きな島で見所もいっぱいだった」「函館の人でも奥尻に来ていない方が沢山いるのでPRします」と奥尻島の魅力を語っていました。

## よろこび かなしみ



### お誕生

おなまえ	保護者	住所
菅川 創太 <small>（どうた）</small>	仁	字米岡
中田 梨愛 <small>（りお）</small>	智也	字奥尻



### 結婚

夫の名	妻の名	住所
上野直人	金子麻季美	字奥尻



### お祈りします

おなまえ	年齢	住所
工藤 啓藏	満84歳	字奥尻
田中 たよ	満88歳	字青苗

10日まで・敬称略）  
（平成20年9月11日から10月）

### 町の人口・世帯

住民基本台帳 9月末現在

（男）	1,734人	（-4）
（女）	1,693人	（-3）
（計）	3,427人	（-7）
	1,669世帯	（+2）

（ ）は、前月末比較増減